

デルハルン

(ノコギリヤシ果実抽出物)

(フィステロール)

ノコギリヤシは北米南東部原産で、かつてアメリカインディアンが健康維持、生理活性機能の目的でその果実を食用していました。

男性ホルモンのテストステロン(T)から、ジヒドロテストステロン(DHT)への生成を触媒する、5 α リダクターゼ(5-RED)を阻害する事によって、DHTの生成を阻害します。

又、ノコギリヤシ抽出物がヒトのアンドロゲンレセプターと関与する事も示されております。即ちアンドロゲンレセプターとDHTが結合するのを阻害する作用があります。

3ヶ月間のノコギリヤシ抽出物の服用で、DHTの減少とTの増加が報告されています。

5 α リダクターゼの触媒作用の阻害・・・テストステロンがより強力なジヒドロステロンに変換されるのを阻害

DHTが各受容体に働きかけることも阻害・・・DNAと結合するDHTレセプターの発生を抑制するアンチアンドロゲン作用がある。その結果、DHTの代謝及び排泄が促進される。

作用する場所が、末梢の臓器のみ(毛根内や前立腺内)で全身的な作用でない事。

毒性に対しても極めて低くステロイド製剤とは遥かにかけはなれています。

主な生理作用

5 リダクターゼ阻害

アンドロゲンレセプター結合阻害

